

# 長野の林業

平成29年3月10日発行  
長野の林業編集委員会

## No.326

もくじ



### 特集

緑化運動

平成29年度緑化運動	2
長野県緑の基金	3
トピックス	4
平成28年度林業士認定	4
中部森林技術交流発表会 中部森林管理局	5
各地域での取組	6
佐久/上伊那	6
下伊那/木曾	7
公共建築物への県産材利用を考える研修会	8
信州の活用モデル地域支援事業事例発表会	9
木材利用工法の優良工事事例コンテスト	10
トピックス/お知らせ	
「地域材」まるわかりバスツアー/ 「信州型接着重ね梁」使ってみませんか?	11
森の元気情報	12
林業の担い手確保に向けた取組	12
長野県林業労働財団	12
県森連だより	13
長野県の木材市況	20



全景



正面受付



作業・展示室

地域材で整備された各地の木造公共施設をシリーズで紹介していきます。第四回目は長野市の「茶白山自然植物園緑育センター」です。

茶白山自然植物園における緑育活動の拠点施設で、作業・展示室と講習室があり、園内での花づくり・森づくり活動や緑を育てる講習会などに利用されています。

また、同センターの銘板やサインは園内の間伐材から作られており、地域産材を使った温もりある建物で、木の良さを広く発信する木造施設です。

## 平成29年度緑化運動がはじまります。

4月1日から5月31日は『緑化推進特別強調月間』です。  
この2カ月間は特に県内各地で緑化運動が行われます。  
緑の募金活動や緑化活動などの実施について、ご協力をお願いします。

4月以降県内各地域で、緑化に関する多くのイベントが開催されます。  
昨年6月に国土緑化運動の中心的な行事である第67回全国植樹祭を長野県で開催し、県内での緑化に対する期待・関心が高まっている流れを受けて、平成29年度も県内各地で植樹祭や緑の募金活動等の様々な緑化運動が行われます。皆さんも植樹会場や身近な山や公園に足を運んでいただき、緑と触れ合ってみませんか。

### イベント

県では、毎年「ふるさとの森づくり県民の集い」（県植樹祭）を行っています。

平成29年度は、6月3日（土）に長和町 姫木平（大門財産区）（エコバレースキー場 隣接地）において開催するほか、県内各地で植樹祭が行われます。緑に親しみ、楽しめる企画を準備していますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

また、県内各地で「信州 山の日」に関連したイベントが行われますので、こちらも是非ご参加ください。

### 街頭募金

4月29日（土）から5月5日（金）は「みどりの週間」です。県内各地で、この期間中、高校生ボランティアの皆さん達と一緒に緑の募金活動を行います。

「緑の募金」は、多くの「人と緑」をつなげる活動に役立てられますので、御協力をお願いします。



長野県PRキャラクター  
「アルクマ」  
©長野県アルクマ



植樹の様子



募金活動に御協力をお願いします。

平成29年度 ふるさとの森づくり県民の集い（第68回長野県植樹祭）は、6月3日（土）に長和町 姫木平（大門財産区）「エコバレースキー場隣接地」で開催します。

# ふるさと信州に緑の輪を広げよう



美しい信州の緑や森林づくりのため、「緑の募金」に協力をお願いいたします。

## 事業の体系

平成28年 募金総額 79,904,408 円

### 森林・林業の啓発と緑化事業

- 情報誌等による広報、普及宣伝
- 県民の集い等の開催
- 後援会の開催等
- 都市緑化等の環境整備
- 森林づくり等実践参加の促進

### 緑の募金事業

- 緑の募集活動
- 公募事業の実施
- 緑化の推進等
- みどりの少年団の育成

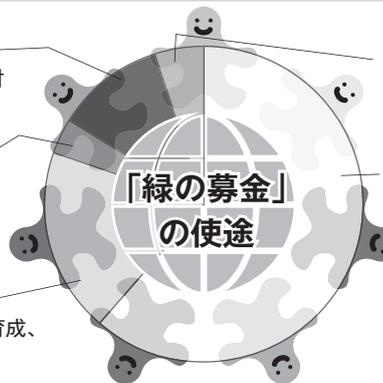
募金活動経費  
(募金運動啓発、募金資材など) 11.3%

(公社)国土緑化推進機構の中央事業  
(海外植林、公募事業など) 3.6%

人づくり事業  
(みどりの少年団の育成、指導者の養成など) 19.4%

公募事業  
(緑の募金公募事業) 5.0%

緑化の推進事業  
(公共施設の緑化、緑化木の配布植樹、育樹祭の開催など) 60.7%



「緑の募金」  
の用途

ご協力をいただきました「緑の募金」は、里山の手入れ、みどりの少年団の育成などに活用させていただきました。

## 明日を担う子どもを育てる



高校生による募金活動



みどりの少年団交流会開催



森林環境教育指導者研修会開催



平成28年度 長野県林業関係ポスター等コンクール  
国土緑化・育樹運動ポスター  
長野県知事賞  
宮田小学校  
小野 友花里さん作品



### 好評発刊中

千曲川源流で子どもたちが故郷の森林と川との関わりを深めるお話です。



県民植樹会場



## 公益財団法人 長野県緑の基金

長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁内  
TEL026-232-0111 内線4819 FAX026-234-0330  
Eメール green@midori-joho.gr.jp  
ホームページ http://www.midori-joho.gr.jp/



# 平成二十八年度 林業士認定授与式を 開催しました



二月十六日に林業総合センター(塩尻市)において、今年度新たに認定した七名の林業士に認定証書を授与しました。

林業士は二年間で述べ四十六日間の研修を終え、地域リーダーとして活躍が期待されており、林業士制度が発足して四十三年目を迎える今年で、五百二十七名を認定しています。

認定証書授与式では認定審査にあたった菅原聡委員長(信州大学名誉教授)から、「地域

と森林を結びつけるために、自分で考え、自分で行動することが出来るよう自信と誇りを持つてほしい」とのお言葉をいただき、来賓の川島潤一林業士会会長からは「地域からの声に応えるために、各

地域にある林業士会を活用し、仲間とともに次のステップへと進んでほしい」とお二人から激励のお言葉をいただき、思いを新たに地域へと戻られました。  
里山の整備や利活用、成熟した森林の木材利用など、林業士の皆様には地域の森林・林業の牽引する中核的なリーダーとして、ますますのご活躍を期待いたします。

【信州の木活用課】

<p>【林業士】 金井 のぞみ 上田市 株式会社 創恒</p> 	<p>【林業士】 小池 利幸 小県郡長和町 株式会社 創恒</p> 
<p>【林業士】 齋藤 真吾 上伊那郡中川村 中川村役場(委嘱)</p> 	<p>【林業士】 佐々木 育夫 伊那市</p> 
<p>【林業士】 中原 卓也 伊那市 自営</p> 	<p>【林業士】 清沢 光彦 東筑摩郡朝日村 朝日村役場</p> 
<p>【林業士】 武内 美江 長野市 長野森林組合</p> 	<p>※表示は【資格】、氏名、住所、勤務先</p>





## 地元産のカラマツの可能性をさぐりたい… 村産材を使う会（キタモク）の家具作り

南佐久郡北相木村では、平成二十六年から主伐が始まりました。主伐をするようになって、以前にも増して木の利用について考えるようになりました。

北相木村では地元のカラマツを使って地域を活性化したいという想いをもった若い仲間たちが集まり、小さなNPOを作りました。それが『村産材を使う会』（キタモク）です。カラマツには、メンバーそれぞれの立場からみた魅力がありました。キタモクでは、それを伝える一つの形として『家具』の製作に取り組んでいます。若いセンス、カラマツに対する想いを感じることができると感じています。三月には、県内の家具店や『木』の良さを知っている設計士や建築士等を招待し展示会を開催する予定です。アドバイスをもらい今後の家具作りに活かすことができればと思っています。地元の人たちにも見て頂き、村産カラマツの可能性を感じてほしいです。



製材工場で、家具にあわせた木取りをする建具職人のメンバー



カラマツ材×地元職人の技と想い。キタモクの家具となるよう、日々頑張っています。

待し展示会を開催する予定です。アドバイスをもらい今後の家具作りに活かすことができればと思っています。地元の人たちにも見て頂き、村産カラマツの可能性を感じてほしいです。

【佐久地方事務所】

## 広がる木づかい ～ソーシャル フォレストリー都市・伊那市～

### ■KEES■（キーズ）



伊那市の商店街店主らで作る「伊那まち再生やるじゃん会」が地元産のアカマツを使った多用途ブロック「KEES」を考案しました。商店街の活性化や、小学校の授業から森に興味をもつきっかけなどに活用されています。また、七月に東京で開催したワークショップに参加した小学生が、夏休みの自由研究の課題とし、十月の「KEESの森で過ごす一日2016」では東京から伊那市に訪れるなど、KEESが都市と伊那の森をつなぐかけはしになってきています。お問い合わせはキーズプロジェクト事務局まで（電話0265・96・0438）。

### ■木棺■

伊那市地域材研究会が開発した伊那市産のカラマツ製とヒノキ製の木棺の一般提供が始まりました。カラマツとヒノキの集成材を表面と側板に使い底板は合板で強度を保っています。市内の火葬場での二度の燃焼試験を経て、重さや強度と燃えやすさの兼ね合いを探って製品化しました。

故人と同じ年輪を重ねてきた伊那の木で作った木棺を考えてみてはいかがでしょうか。お問い合わせは伊那市耕地林務課まで（電話0265・96・8127）。



【上伊那地方事務所】

## 飯伊森林組合がCoC認証を取得しました

平成二十八年九月一日、飯伊森林組合が、県内四番目となるSGEC(緑の循環認証会議)森林認証の流通・加工部門のCoC認証を取得しました。

有効期間は平成三十三年八月三十一日までの五年間です。

森林認証は、森林を対象とした森林管理のFM認証と、木材の流通・加工業者を対象としたCoC認証があり、認証製品として消費者まで届くには両方の認証が必要で、この過程で違法木材が混ざらないよう管理され、適切に管理された木材を原料に生産されていることが保証されます。

このメリットとして、森林の評価・森林の保護・産地の証明・製品の保証・国際的競争力向上が考えられます。

今後飯伊森林組合では、現在認証森林がないため、長期受託経営により組合が適切な管理と持続可能な森林経営を行なうことを目的にFM認証の取得を計画しています。

### 〔下伊那地方事務所〕



木材流通センターにある製材工場「ほうりん」

## 長野県上松技術専門学校 「ひのきの里」での人材育成

長野県上松技術専門学校は、昭和二十一年に長野県上松職業補導所として開設され、現在は、県内に六校ある技術専門学校のひとつとして人材育成にあたっています。木工科と木材造形科(定員各二十名)があるのはここだけで、木工科では、木製家具の製作に関する基礎的な知識や技能の習得に加え、木工業界に広く対応できるように据付家具などの製作やその施工に関する基礎的知識と技能の習得を行っています。又、木材造形科は、和洋木製家具(棚、テーブル・机、椅子等)の製作に必要な知識と技能を学び、地場産業の「ろくろ・うるし」といった実習も取り入れています。訓練の期間は一年間ですが、訓練は濃密で、明確な目的を持った訓練生は、熱心に実習に励んでいます。指導にあたる先生方も、日々、使用機械の保守点検や木工における基本技術の大切さを指導し、訓練生の技量に見合ったレベルアップを図っています。

毎年三月には、一年間の成果発表として『ひのきの里の技能祭』が開催され、訓練生の作品展示即売会が行われます。訓練生が丁寧に仕上げた作品は、どの作品も素晴らしく、しかも手頃な価格で購入できるとあって全品抽選販売となっています。

ここ「ひのきの里」から、毎年、木工の匠を目指す多くの優秀な技能者・技術者が輩出され、各地で活躍されています。

### 〔木曾地方事務所〕



製作に取り組む訓練生



展示販売される作品(一部)



## 「公共建築物への県産材利用を 考える研修会」を開催しました

県産材の利用拡大を目指して、公共建築物への利用を考え、併せて、県産材利用による地域経済循環を考えようと、「公共建築物への県産材利用を考える研修会」(～みんなで県産材を使おう、そして、地域経済に貢献しよう!!)を、平成二十九年二月六日(月)に、松本市総合社会福祉センターにおいて、信州地域材利用拡大推進協議会及び信州木材認証センターと共催で開催しました。

研修会は、第一部は講演、第二部はセミナーで構成しました。

第一部では

◆大規模建築物の木材利用の取組み  
(株)竹中工務店 木造・木質建築推進本部

◆木造公共建築物の分離発注(東御市農林課)

◆県産材利用による経済効果(信州大学工学部建築学科)

の三者の方から御講演をいただき、続いて第二部で

◆木造建築物の建築基準法関係規制について(県産材利用推進室)

◆信州型接着重ね梁について(信州木材認証製品センター)

◆カラマツ耐火集成材について(齋藤木材工業(株))

◆木材保存加圧注入処理剤について(株)ランバートック)

◆県産材型枠合板について(林ベニヤ(株))

◆新たな県産材利用事例の紹介(県産材利用推進室)

◆”信州の木“建築賞について(建設部建築住宅課)

七つのセミナーを行いました。

建築・設計関係者四十名、林業・木材関係者五十名、市町村職員六十名、県職員五十名、その他若干名で、合計二百六名と多くの参加者をいただき、開催することができました。

三時間の研修会でしたが、参加者の皆様は大変真剣に、興味深く

聴講していただき、木材利用に係わる情報提供のニーズを実感しました。  
今後も、このような研修会を開催することにより情報発信を行い、県産材の利用拡大に努めていきたいと考えております。



主催者挨拶



熱心に聴講される参加者の皆様



燃エンウッドの展示



竹中工務店様の御講演

【県産材利用推進室】

## 信州の山に眠る「県産材」という名のお宝大発見！

### 「信州の木活用モデル地域支援事業」

### 事例発表会を開催しました！

県では、地域が主体となり、里山の森林資源を木質バイオマス利用や商店街等の木質化、道の駅等での販売などに活用する先進的なモデルとなる取組について、森林づくり県民税（以下「森林税」という。）を活用した「信州の木活用モデル地域支援事業（以下「モデル事業」という。）で支援しています。

この取組により、身近な森林資源を地域の活性化やエネルギーの自立につなげ、森林資源の持続的活用を図ることを期待しています。モデル事業は開始から四年目となり、これまで実施してきた事例

についてはホームページや「どんどん使おう！信州の木」という冊子の配布を通して取組事例の情報の発信を図ってきました。

さらに現在取り組みが進められている、当年度の各事業の事業内容についての情報を周知するため、今年度に初めての試みとして発表会を開催しました。

発表会は二月十五日に県庁西庁舎で開催し、今年度の事業実施者、県モデル事業担当者、市町村職員のほか、地域での木材の利活用に関心のある方を含め、四十名を超える参加がありました。

今回の発表会は構成を二つに分けて実施し、前半は平成二十八年に事業を実施中の五地域の事業の経過発表を行い、後半では、平成二十五年度、二十六年に三地域で実施されたバイオマスモデル事例発表を行いました。

平成二十八年度事業の発表では、地域で事業を実施することになった経過や取組状況の経過を発表した後、当初の目的の達成度合いの確認、事業実施後の展開、情報発信の方法等について質疑を行

いました。

バイオマスモデルの発表は、既に事業実施後、一年から二年が経過しているため、事業を契機に、地域でどのように取組が進められているか、を中心に意見交換を行いました。地域材をバイオマス利用する取組は、地消地産のモデルを地域単位で構築しやすいこともあり、会場からはノウハウを学ぼうと、活発に意見が出ました。

各取組の詳細については、全ての事業が完了する三月以降に改めてご紹介します。



取組事例の発表状況



取組を紹介するコーナーも開設  
(「Kihada 黄金の樹プロジェクト」)

モデル事業は、平成二十五年度から森林税第二期の「森林税の見える化」の取組として開始し、平成二十七年までには県内各地の十八地域で様々な取組が実施されています。（詳細は、長野県ホームページをご覧ください。）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/sangyo/ringyo/kensanzai/katsuyomodel-top.html>

【県産材利用推進室】



# 木材利用工法の優良工事事例コンテスト

平成 28 年度、第 7 回優良工事事例コンテストの入賞作品を紹介します。  
本年度は、18 点の応募があり、次のとおり 8 点を表彰することといたしました。

長野県県産材振興対策協議会

## 長野県知事賞



長野県 諏訪地方事務所 林務課  
吹付工（チップ吹付）（茅野市北山地区）

## 中部森林管理局長賞



環境省 中部地方環境事務所 長野自然環境事務所  
木道整備工（北安曇郡白馬村（八方尾根））

## ■長野県治山林道協会会長賞■



林野庁中部森林管理局 中信森林管理署  
木製天端保護工（北安曇郡小谷村中土）

## ■長野県森林組合連合会会長賞■

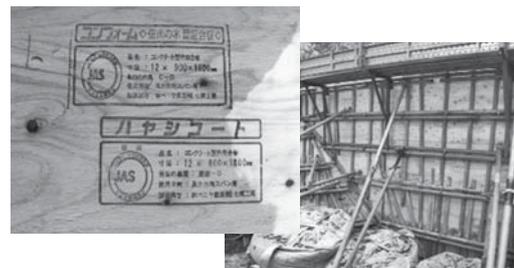


林野庁中部森林管理局 東信森林管理署  
木製校倉式土留工（上田市西内国有林内）

## ■長野県木材協同組合連合会理事長賞 2 点■



林野庁中部森林管理局 北信森林管理署  
丸太残存型砕工（飯山市照岡山国有林内）



長野県松本地方事務所 林務課  
型砕工（東筑摩郡筑北村菖蒲沢）

## ■長野県県産材振興対策協議会会長賞 2 点■



国土交通省北陸地方整備局 千曲川河川事務所  
木工沈床工（安曇野市）



長野県下伊那地方事務所 林務課  
丸太筋工（下伊那郡下條村字シイナ平）

# 『地域材』まるわかりバスツアー

信州木材認証製品センター

長野・岐阜両県が連携して、首都圏での地域材の認知度の向上やコアな県産材のファンを開拓するため、首都圏の工務店、設計事務所関係者等を対象としたバスツアーを一泊二日で実施し、信州カラマツをはじめとした県産材のPR活動を実施しました。

- ◆主催 信州木材認証製品センター
- ◆共催 長野県、長野県産材販路開拓協議会
- ◆後援 岐阜県
- ◆参加者 首都圏の工務店、設計事務所関係者等 三十一名
- ◆開催日 平成二十九年二月九日(木)～十日(金)
- ◆場所 松本市及び塩尻市
- ◆内容

## 〔1日目〕

〔講 演〕「構造デザインと地域材活用」  
 ～建築と林業のコラボレーションから  
 生まれる地域材利用建築～  
 講師：岐阜県立森林文化アカデミー  
 准教授 小原 勝彦氏

〔本音談義〕「教えてください！本音のトコロ」  
 「地域材を活用した木製品の紹介」



参加者との意見交換の様子

## 〔2日目〕

〔講 演〕「信州カラマツの魅力に迫る！」  
 講師：長野県林業総合センター  
 元所長 吉田 孝久氏

〔実験見学〕 実在大の曲げ破壊等の実験見学  
 ～アッ！という間に丸太が製品に!?～  
 場所：征矢野建材(株)  
 ソナノウッドパーク



開発中の県産材製品の試験状況を見学  
 (長野県林業総合センター)

今回のバスツアーでは、「地域材に関心はあるが、実際に地域に足を運ぶ機会がないため、貴重な体験ができた」など参加者から好評でありツアー継続を求める声も聞かれました。  
 今後も今回のバスツアーのような少人数を対象とした濃厚なセミナー開催を通して、更なる県産材の需要創出に努めていきたい。

国土交通大臣認定製品 × 信州木材認証製品



## 「信州型接着重ね梁」 使ってみませんか？

「信州型接着重ね梁」を使っただけの  
現場を募集します！！



まるで、「無垢！」

接着重ね梁の利用事例

【給付対象】 工務店、設計事務所、建築事務所

【給付の条件】

- 以下の条件をすべて満たすことが必要です。
- (1) 給付する材料を用いて施工する物件を有していること
  - (2) 重ね梁の設置が **平成29年5月末日(予定)** までに完了すること
  - (3) 重ね梁の接着面が見える場所へ設置すること
  - (4) 個人住宅への設置の場合、設置完了後、工務店等を対象とした接着重ね梁の見学会、又は勉強会を1回以上開催できること
  - (5) 施工中及び完成後も接着重ね梁のPRを継続して行うこと
  - (6) 完成後、事務局からアンケート等依頼された場合は協力できること
  - (7) 完成後、状況確認等のために事務局の職員が立ち入ること

【給付の内容】

- (1) 信州型接着重ね梁 **20本程度**  
 (長野県内10本、県外10本程度を想定)
- (2) 寸法・規格等は別紙に記載のとおり

【お申し込み方法】

別紙、現物支給申請書に必要事項記載の上、事務局までファックスかメールにより申込みしてください。

【申込期間】

**平成29年5月19日(金)(予定)まで**

ただし、予算が終了次第、申し込みを締め切ります。

【提供者の決定】

提出された現物支給申請書の内容を審査の上、提供数量を決定します。

【その他】

詳細は、以下のホームページをご覧ください。  
<http://shinshu-kiraku.net/>

お申込み・問合せ先

信州地域材利用拡大推進協議会 (土日、祭日を除く、午前9時から午後5時)  
 〒380-8567 長野県長野市岡田町30-16 TEL : 026-226-1471, FAX : 026-228-0580  
 E-mail : nkenmokuren@siren.ocn.ne.jp

# 林業の担い手確保・育成の取組 ～長野県林業労働財団～

「林業の担い手確保・育成」は、当財団が平成八年に林業労働力確保支援センターとして県の指定を受けて以来二十年間ずっと取り組んできた基幹業務です。そのアウトラインについては、昨年の本誌三月号でご紹介しましたので、今回は当財団が行っている研修業務に絞ってご紹介します。

センター指定当初は、県から実施主体が移行された林業技能作業士（グリーンマイスター）養成研修や、当時は珍しかった高性能林業機械の操作やメンテナンス研修等を皮切りに研修業務を開始しました。

平成十五年には国の「緑の雇用」事業が導入され、また、平成二十三年度からは林業技能作業士制度に替わり、林業未経験者でも段階的にキャリアアップできる研修制度となりました。

この「緑の雇用」研修は、当財団が行う集合研修と研修生が所属



タワーヤードの架設を行う研修生



伐倒方向の確認を行う研修生

する事業体の指導員が行う実地（OJT）研修、その指導員を養成する指導員能力向上研修などにより体系化（※表1）されています。二十八年度の研修では林業作業士（フォレストワーカー※FW）の一年目から三年目の集合研修と現場管理責任者（フォレストリーダー※FL）の集合研修を実施し、それぞれ百四十名と二十一名の担い手育成に携わっています。

【表1】

研修の種類	集合研修(座学・実習)の内容【資格取得等】	実地(OJT)研修の内容
1年目(FW1)	林業作業の基本と安全(35日程度)【6種類】	最大10ヶ月
2年目(FW2)	基礎力の定着・向上(25日程度)【5種類】	最大8ヶ月
3年目(FW3)	林業機械を使用した林業作業(17日程度)【2種類】	最大8ヶ月
5年以上(FL)	現場のコスト・工程管理(16日程度)【3種類】	—
10年以上(FM)	経営的リーダーシップと企画・運営(10日程度)【1種類】	—
指導員能力向上	実地(OJT)研修の管理・指導方法(3日)【なし】	—
1日現場ガイダンス	林業の現状や仕事内容、施設見学、就業相談【なし】	—
就業支援講習(4日)	上記のほか、林業作業体験【なし】	—
就業支援講習(16日)	上記のほか、充実した作業体験、資格取得【4種類】	—
オペレータ養成研修	高性能林業機械の特別教育、専門的なメンテナンスと操作【3種類】	—

※ フォレストマネージャー(FM)は全国森林組合連合会で実施

このほか、林業への就業を希望する方を対象に、林業現場を見学する「1日現場ガイダンス」、就業への適性を確認する「就業支援講習(四日コース、十六日コース)」や、現在の林業現場で欠かすことのできない高性能林業機械の専門研修なども実施しています。これから主伐期を迎え林業現場では、大径木を扱うことは必至となります。そのため、より安全に、そして効率的に作業できる林業技能者や現場管理者の確保と育成に引き続き取り組んでまいります。

【長野県林業労働財団】

# 平成29年度県森連通常総会開催

当連合会の第80回通常総会が平成29年2月24日（金）に長野県林業センタービルにおいて、会員・来賓の皆様にご多数出席賜り、開催されました。

総会は、林和弘副会長の開会に続き、藤原忠彦会長が挨拶を行い、県下森林組合における不適正事案に関して系統一丸となつて信頼回復を図っていくこと、国税版・森林環境税の実現について平成30年度税制改正において結論を



藤原会長による挨拶



議事の様子

課・山崎明林務技監兼課長、中部森林管理局・新島俊哉局長、衆議院議員・後藤茂之様、衆議院議員・井出庸生様、参議院議員・杉尾秀哉様、農林中央金庫関東東業務部・岩田正副部長より祝辞を頂きました。

議事は、木曾南部森林組合・中村今朝男組合長を議長に、第1号議案・平成28年度事業報告等から、第9号事案・系統運動方針についてまでの全9議案が審議の上、原案通り承認・決定されました。

引き続き、系統利用優良森林組合への感謝状の贈呈及び永年勤続役員表彰（専任職員15名、技能職員23名）が行われ、受賞者を代表して松本広域森林組合・曾根成明総務課長から謝辞をいただき、総会の全日程を終了しました。

した成長産業と就業機会の創出による地方創生、林業の持続的健全発展、効率的作業システムによる生産性の向上等が政府の講ずべき施策として示されました。

新系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」次代へ森を活かして地域をつくる」においては、5年後の姿を描き腹に落ちる数値目標を立て運動方針を作成することの周知を図りました。人工林が伐期を迎える中で、流通を担う県森連は全森連、中部圏域の県森連とも協調を図り、スケールメリットを活かした木材需要の拡大を推進しました。

木材需要については、住宅着工戸数が前年を上回り、集材材・合板等の需要も旺盛であり価格は上昇傾向でありましたが、大口需要は慎重な構えを崩さず横這いで推移しましたが、結果として販売・加工部門を通じ総体で306千m<sup>3</sup>を取扱うことが出来ました。これも偏に官民一体となつて安定供給にご理解とご協力を示して頂いた賜物と感謝申し上げます

## 平成28年度事業報告（総括・概要）

出すとされたこと、新系統運動「JFOREST 森林・林業・山村未来創造運動」の県域での運動展開について策定し新たな事業展開を図っていく旨、述べられました。その後、県林務部信州の木活用

平成28年は、全国後継者大会・全国植樹祭・山の日制定祝祭祝典が天皇皇后両陛下・皇太子同妃両殿下をお迎えし盛大に開催されましたことは何よりの喜びでありま

した。

新たな森林・林業基本計画が5月に閣議決定され、集約化による森林経営、再造林等による適切な更新、国土保全、森林資源を活用



## 永年勤続表彰登壇者の皆様

### 平成28年度事業計画（総括・概要）

森林組合による不祥事に対しては、二度と起こさない、起こさせない対策を自ら徹底的に誠実に実行し、誰が見ても適正であると認

められる事業を行うことに尽き、コンプライアンス・ガバナンス体制を強化するため、ガイドラインによる会員役職員へのコンプライアンス研修を実施し再発防止喚起

に努めます。

伐期に達した人工林を循環するため、伐採から造林まで一貫した作業を進め、生産コストの低減に努めます。その上で、労働災害防止は絶対条件で、事業主と労働者が一体となって推進することが重要であります。安全対策が労働生産性を高める秘訣であり、林業に魅力を持つてもらうには災害のない、知能労働に見合う収入が得られることが必要で、担い手確保に繋がる、減災と待遇改善に努めます。

合法木材や5月から施行されるクリーンウッド法の理解普及に努めます。また、信州カラマツのブランド化やCOC認証の事業体として、認証材の有利化を進めるとともに、系統のスケールメリットを活かした広域連携による県産材の安定供給図り、需要者の多様なニーズにこたえてまいります。



長野森林組合 公平武義様



松本広域森林組合 曾根成明様



信州上小森林組合 保科勝様



松本広域森林組合 飯沼千賀子様



南佐久南部森林組合 小柏敏朗様



長野森林組合 小池資晃様





系統利用優良森林組合等感謝状贈呈名簿	
《木材販売事業》	《購買事業》
長野森林組合	信州上小森林組合
松本広域森林組合	松本広域森林組合
北信州森林組合	長野森林組合
信州上小森林組合	飯伊森林組合
上伊那森林組合	佐久森林組合

永年勤続（専任職員）被表彰者		
勤続年数	組合名	氏名
30年以上	松本広域	片桐浩
	松本広域	曾根成明
	長野	戸谷稔
	長野	徳武政子
25年以上	県森連	小金沢英樹
	南佐久北部	佐々木良枝
20年以上	長野	春日賢一
	信州上小	中村武志
	諏訪	高橋政男
	諏訪	柿澤肇
	松本広域	飯沼千賀子
	松本広域	山岡正人
10年以上	長野	赤松玄人
	長野	飯島朋子
10年以上	長野	小池資晃

永年勤続（技能職員）被表彰者		
勤続年数	組合名	氏名
25年以上	長野	公平武義
	信州上小	春原芳弘
	信州上小	山越一也
	信州上小	石井求勝
	信州上小	保科勝夫
	信州上小	箱山明夫
	長野	山本智浩
	長野	橋本東太郎
	長野	上原和弘
	北信州	山城厚
20年以上	北信州	斉藤厚
	南佐久北部	井出徳久
	南佐久北部	小林春樹
	南佐久南部	小柏敏朗
	信州上小	瀬尾浩平
	信州上小	椎木正次郎
	信州上小	東郷琢磨
	根羽村	小野隆治
	根羽村	加藤雅晃
	根羽村	永井大幸
10年以上	木曾	古畑薫
	木曾	古根祐樹
	木曾南部	古根祐樹
	木曾	古根祐樹
	木曾	古根祐樹
	木曾	古根祐樹

## 「協同組合の未来に向かって」 協同組合職員交流集会開催される

2月13日（月）、JA長野県ピル（長野市）において、協同組合職員交流集会（主催・長野協同組合連絡会）が開催されました。

本交流集会は、県内のJA中央会、信連、全農、厚生連、共済連、生協、労金、労協などの、森連等協同組合の一般職員（45歳以下）が協同組合について学ぶと共に、他の協同組合組織・事業・活動の理解を深めネットワークを広げることを目的に開催され、4回目となる今回は32名が参加して行われました。

青木健協同組合連絡会会長（労協）の代表理事）による主催者挨拶の後、学習会（問題提起）として、JC総研・前田健喜協同組合研究部長・主任研究員による「協同組合の役割と協同組合間連携の強化」と題して協同組合の歴史・情勢・役割・現状・課題について講演が行われました。

続いて、各組織の出席者がグループに分かれて、自分の仕事と



活発な討論で交流・親睦を深める

他の協同組合の仕事が連携できないか考えてみよう」としてグループで意見交換し、討議結果を集約してホワイトボードにまとめ、グループごとに発表し結果を共有しました。県森連からは横森久道（東信木材センター）、青柳正人（南信木材センター）、池内繁明（中信木材センター）が出席し、異業種の方との討論、情報交換を通じて有意義な時間を持つことが出来ました。



# 未来へと植えて育てる 緑の輪

平成 29 年度  
国土緑化運動標語

一般社団法人

## 長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 木下 修  
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 塩入 茂

## 長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦 代表理事専務 滝澤 栄智  
副会長 林 和弘 常務理事 安原 輝明

## 長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 岡 健一郎  
副理事長 佐原 良彦 副理事長 麦島 照幸  
副理事長 都築 透 専務理事 宮崎 広雄  
副理事長 大久保陸男 事務局長 松本 寿弘

## 長野県林業団体協議会

会長 滝澤 栄智  
副会長 宮崎 正毅 副会長 木下 修

一般財団法人

## 長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 中村 慎

## 林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 細川 忠國 専務理事 宮崎 広雄  
副支部長 滝澤 栄智 事務局長 大屋 博利

## 信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅  
副理事長 齋藤 廣 専務理事 宮崎 広雄  
副理事長 滝澤 栄智 事務局長 松本 寿弘

国立研究開発法人森林総合研究所  
森林整備センター  
長野水源林整備事務所  
長野県水源林造林協議会  
所長 山崎 英志  
会長 中村 武雄

## 長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

## 長野県猟友会

会長 赤津 安正

一般社団法人

## 信州の緑と野鳥を守る会

理事長 小林 富夫

## 長野県山林種苗 協同組合

理事長 富澤 修一

伐採木から解体木材まで適正処理はお任せください!

地産池消のエネルギー  
間伐材・道路支障木解体木材  
原料木(根株・枝条・廃木材等)  
用途に応じたサイズに破砕(0~50mm)

●バイオマス発電用燃料  
●吹付用基盤材(長野県特肥309号)

至飯綱スキー場  
看板  
お山の発電所  
当社工場  
至浅川・長野市街地

一般廃棄物処分業許可:長野市50006号  
電子マネー対応 ISO 14001:2004  
**宮澤木材産業株式会社**  
環境事業部 木材リサイクルセンター  
**TEL.239-3260**  
長野市中曾根3646-1 FAX.239-3252  
受付時間/8:00~17:00 定休日/日・祝祭日  
本社/長野市中曾根2188-5 TEL.239-0588

廃木材を100%  
電力にリサイクル!!

FOREST ECOSYSTEM  
A PERMITTED  
WOOD WASTE  
RECYCLING  
CENTER

URL <http://www.mwwi.co.jp> E-mail [kankyout2@mwwi.co.jp](mailto:kankyout2@mwwi.co.jp)



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 育てよう 豊かな森と 未来の笑顔

平成 29 年度  
育樹運動標語

一般社団法人

## 長野県林業 コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

## 長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

## 長野県森林組合長会

会長 林 和弘

## 長野県林業 薬剤防除協会

会長 石川 亮

## 佐久森林林業振興会

役職員一同

## 上小林業振興会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

## 諏訪地域森林づくり ・林業振興会

役職員一同

## 上伊那山林協会

役職員一同

## 下伊那山林協会

役職員一同

## 木曾山林協会

会長 貴舟 豊 役職員一同

## 松本地域森林林業振興会

役職員一同

## 長野地方緑化推進委員会

会長 横川 正知 役職員一同



### 兎フルタヤ椎茸株式会社

Tel.0260-24-2033 Fax.0260-24-2833

〒399-1612 長野県下伊那郡阿南町新野 2451-8  
www.furutaya.com



## 東信木材センター 協同組合連合会

監	理	副	理
事	務	理	事
事	事	事	長
松	小	田	齋
黒	相	中	藤
伊	沢	沢	
倉	岸	野	
山	保	崎	
大	崎	千	
笹	野	勝	
星	崎	広	
宮	澤	栄	
滝	沢	徳	
小	相	高	
田	中		
齋	藤		
理			
事			
長			
徳			
敏			

小諸市甲字鞍掛四七四七  
FAX(〃)二三一〇八八七  
FAX(〃)二三一二九三



# 未来へと植えて育てる 緑の輪

平成 29 年度  
国土緑化運動標語

一般財団法人

## 日本森林林業振興会 長野支部

支部長 土田 薫

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-0915

一般社団法人

## 長野林業土木協会

会長 木下 修 役員一同

## 長野国有林森林整備協会

会長 花見 隆夫 副会長 林 和弘

長野市稲葉母袋沖 612-2

## 日本林業土木株式会社

長野出張所 所長 竹内 正比古

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185



## みどり産業株式会社

代表取締役 池田 正治

本社 長野市稲葉2413-3 ☎026-224-8708

## 株式会社 長野林友

代表取締役 大屋 孝好

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-7741

## (株)中部森林技術コンサルタンツ 長野支店



支店長 小池 雄二

長野市稲葉中千田沖 2040-2 ☎026-224-8710



一般社団法人

## 日本森林技術協会

長野事務所 所長 井上 康

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-217-2660

## 株式会社 森林テクニクス

長野支店

長野市松岡 1-16-34 ☎026-214-9271

## 北信木材生産センター協同組合

代表理事 竹下 元治 専務理事 小林 健

長野市大字穂保字中ノ配 342

## 木曾木材生産事業協会

会長 神田 清二

木曾郡上松町荻原中島 1579-3

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石

## 株式会社 モリレン長野

代表取締役 田中 高德

長野市中御所岡田町 30-16



原木運搬 木くずの収集運搬

## 株式会社 岩船陸送

代表取締役 堀 米 伸 一

配車受付 お問い合わせ専用番号 0269-38-1761

## 南佐久北部森林組合

代表理事  
組合長 佐々木 定男

## 南佐久中部森林組合

代表理事  
組合長 黒澤 和夫

レストラン 四季の味 樹木里

## 南佐久南部森林組合

代表理事  
組合長 藤原 忠彦



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 育てよう 豊かな森と 未来の笑顔

平成 29 年度  
育樹運動標語

緑の担い手

## 信州上小森林組合

代表理事 倉沢 明人 役職員一同  
組合長

## 諏訪森林組合

役職員一同

 もりもり上伊那

## 上伊那森林組合

代表理事 白鳥 孝 役職員一同  
組合長



## 飯伊森林組合

代表理事 林 和弘 代表理事 古田 美士  
組合長 顧問 役職員一同  
常務理事 吉澤 悦史

信州根羽すぎ・根羽ひのき

## 根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一 役職員一同  
組合長 下伊那郡根羽村 407-10

## 和合森林組合

代表理事 村澤 博光 役職員一同  
組合長

## 木曾森林組合

代表理事 神村 光雄  
組合長

## 木曾南部森林組合

代表理事 中村 今朝男 役職員一同  
組合長

## 南木曾町森林組合

代表理事 藤原 和年 役職員一同  
組合長

## 長野森林組合

代表理事 酒井 美明 役職員一同  
組合長

## 北信州森林組合

代表理事 中山 稿一 役職員一同  
組合長

## 栄村森林組合

代表理事 桑原 重雄 役職員一同  
組合長

### 4月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
花まつり 第43回全木協連優良 国産材製材品展示会 4月22日(土)	春季謝恩市 4月25日(火)	4月 6日(木) 春季謝恩市 4月24日(月)	4月18日(火)  入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



## 木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島1431-1 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885  
やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村数原844-1 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086  
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

理事長 野村 弘  
本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45  
☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

# 長野県の木材市況

平成二十九年三月十日発行 長野の林業通巻三二六号

発行 長野の林業編集委員会  
事務局 長野市岡田町長野県林業センター内  
(一社)長野県林業普及協会  
(一社)長野県林業センター

電話〇二六(二三七)五〇二五  
電話〇二六(二三六)五六二〇  
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp  
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

## 第985回 市売市況表

(平成29年2月21日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター

TEL0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14~16	14,000	9,000	〇	直造材でお願いします。柱材引き合いあり。
		直	18~22	16,000	14,500	〇	
	4.0	直	14~16	12,000	8,000	〇	4m材土台取りに引き合いあり。
		直	18~22	17,000	13,000	〇	直造材でお願いします。曲材は引き合いが悪い。
		直	24~28	15,500	13,000	〇	
	元	30上	25,000	11,000	〇		
2.0	直	30上	35,500	14,000	-	太物良材に高値。	
6.0	直	30上	38,500	18,000	-		
むら	4.0	元	30上	28,100	8,000	〇	良材に高値。
き	2.6~3.0	直	40上	60,000		〇	
い	4.0	直	50上	88,300		〇	
け	4.0	直	40上	36,500		〇	広葉樹太物良材に応札活発。
け	6.0	直	30上	130,000		〇	
く	4.0	直	24上	48,000		〇	
からまつ	4.0	直	18	13,000	10,000	〇	材が不足しています。出品をお願いします。
		直	20上	12,000	10,000	〇	
		直	14~16	8,000	4,000	〇	
すぎ	3.0	直	16~18	12,000	9,000	-	24上は4mに造材してください。
	4.0	直	30上	13,000	8,000	-	
	6.0	元	70上	48,000		-	
あかまつ	4.0	直	26~28	17,500	13,000	-	需要時期過ぎ、伐採予定の方はご連絡下さい。
		直	30上	18,000	13,000	-	

出品量951㎡ 販売量945㎡ 落札率99% 買い方 35社

今回は天候の悪い日があるなか御出品していただきありがとうございます。ヒノキ柱材は引き合いがありました。広葉樹に関しては応札が活発で、特にケヤキに高値がつきました。からまつは不足してます。是非出品をお願いします。アカマツは需要期が過ぎましたが、伐採予定の方はご連絡ください。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。

## 第987回 市況表

(平成29年2月20日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考	
すぎ	3.0	直	16~18	12,000	9,000	-	3.0mX14~18cm柱取り引き合いあります。20cm上は4.0m造材してください。	
	4.0	直	30~48	13,000	11,000	-		
ひのき	4.0~7.0	元	36~72	25,000	12,000			
		3.0	直	20上	18,000	13,000	-	材不足していますが並材値段横ばい。
		4.0	直	20~28	19,000	14,000	-	
からまつ	4.0	元	36~70	45,000	20,000			
		直	6~13	10,000	8,000	〇	材不足しています。ご出品をお願いします。	
		直	14~18	12,500	8,000	〇		
あかまつ	4.0	直	20上	14,000	12,000	〇		
		曲	14~18	6,000	5,000	-		
		曲	20~40	10,000	7,000	〇		
あかまつ	6.0~8.0	直	18~24	12,000	6,000	△	需要期を過ぎ全般的に価格低迷。3・4月の伐採は控えてください。	
		直	26上	76,000	9,000	△		
きはだ	1.2~2.0	直	18~44	70,000	8,000	〇	良材に高値。広葉樹、応札活発ご出品下さい。	
きり	4.0	直	38~66	65,000		〇		
け	2.0~10.6	直	14~90	1,000,000		〇	一本売	
か	0.4~2.0	直	20~34	600,000		〇		
さ	2.0~5.0	直	14~50	90,000	17,000	〇		

出品量 3,730㎡ 販売量 3,288㎡ 落札率 88% 買い方 47社

前回の「広葉樹祭り」に引き続き今回も広葉樹の出品が多く良材に高値がつき賑やかな市売となりました。又、ヒノキやカラマツも引合いが多くあり今後も期待できそうです。しかしながらアカマツはほとんど需要がありませんので今秋10月以降の伐採をおすすめします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

## 第1019回 市売市況表

(平成29年2月22日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
す	3.0	直	16~18	13,000	9,000		柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	10,000		直造材でお願いします。
	4.0	直	8~13	5,500	4,500		需要あり。出品願います。
		直	14~20	12,500	9,500		出品願います。
		直	22~28	14,000	11,000		出品願います。
		直	30上	18,000	11,000		直造材で出品願います。
曲	14~18	6,000	4,000				
曲	20上	11,000	7,000				
5.0	直	30上	18,000	12,000		伐採前にご相談ください。	
からまつ	3.0	直	9~13	9,500	6,000		細物直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	11,000	8,000		直造材でお願いします。
	4.0	直	6~13	11,000	6,000		需要あり。直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	9,000		需要あり。積極的に出品願います。
		直	20上	18,000	12,000		需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000		
曲	20上	13,000	11,000				
6.0	直	26上	22,000	14,000		需要あり。直造材を心がけて下さい。	
5.0~6.0	直	13~18	16,000	13,000		土木需要あり。出品願います。	
カチ	5.2		62	310,000			一本単価
ホオ	6.0		48	135,000			一本単価
サ	4.0		50	110,000			一本単価
ラ	1.4		40	52,000			㎡単価
ケ	5.0		52	130,000			一本単価
ヤ	3.0		62	122,000			一本単価
キ	4.0		36	61,000			㎡単価
コ	4.0		34	44,000			㎡単価
ハ	3.0		42	60,000			㎡単価
ト	4.4		34	56,000			一本単価
ス	4.6	直	60	60,000			㎡単価

出品量 3,711㎡ 販売量 3637㎡ 落札率 98.0% 買い方 49社

今回の市売りは、スギの太物・広葉樹が多く、大変賑やかな市売となりました。市況としては、スギ・カラマツともに中目に需要があり、価格もやや上昇傾向となりましたので、引き続き積極的な出品をお願いします。広葉樹についても、冬期間は需要が多く価格も良くなっており、特に太物には高値が見られますので、是非とも出品についてご検討をお願いいたします。【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず【合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の】納品書の提出をお願いします。

## 第484回 木材共販市況表

(平成29年2月17日実施)

飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひ	3.0	直	18~30	23,000	12,000	3,360
		直	14	9,000	8,000	2,240
の	4.0	元直	16	16,000	13,000	3,640
		直	18~22	22,500	17,000	4,760
		直	24~28	24,000	17,000	4,760
		中直	16~22	17,500	13,000	3,640
		直	24~28	16,000	13,000	3,640
		元	30上	36,500	24,500	6,860
き	4.0	元直	16~22	25,500	17,000	4,760
		直	24~28	32,500	25,000	7,000
		直	30上	45,500	32,000	8,960
		中直	12~14	9,000	8,000	2,240
		直	16~22	15,000	13,000	3,640
		直	24~28	17,000	13,000	3,640
す	4.0	直	12下	360	300	一本売り
		直	16~18	8,500	7,500	2,100
		直	20~22	10,500	8,000	2,240
		直	24~28	13,600	10,500	2,940
		直	30上	14,500	12,500	3,500
		直	24~32	8,000	7,500	2,100
からまつ	4.0	直	14~22	5,000	4,500	1,260
		直	12~14	5,500	5,000	1,400
		直	16	8,500	5,000	1,400
		直	18~28	12,500	8,000	2,240
		直	30上	13,500	9,000	2,520
		直	小曲り	14~30	5,000	3,500
あかまつ	4.0	直	12下	360	270	一本売り
		直	20~24	9,500	7,500	2,100
		直	26~28	11,000	10,000	2,800
		直	30~42	13,500	12,500	3,500

総評  
ひのき、出荷量少なく、価格は横ばい。すぎ、活発に応札あるが、良材少なく価格は伸びず。あかまつ出荷量が良材少なく価格伸びず。出荷量少ない状況です。今後の出材に期待します。出荷協力いただきありがとうございました。